

地球温暖化防止の取り組み

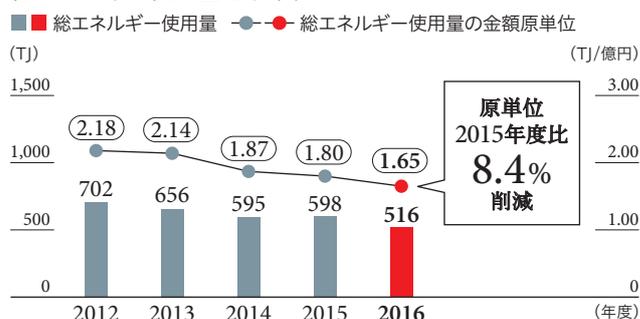
省エネ型生産設備の活用などの諸施策を実行し、エネルギー原単位とCO₂排出量原単位の改善に取り組みました。今後は、省エネ型設備の積極的な導入や工程管理条件の見直しなどに取り組んでいきます。

省エネルギー活動の推進

総エネルギー使用量原単位は「2015年度比99.0%以下」の目標に対して、実績は「91.6%」と目標を達成できました。この主な要因は、生産工場へのコージェネレーションシステムの導入、照明機器のLED化、設備の老朽化対策などエネルギー使用削減に取り組んだことです。省エネ会議や省エネパトロールなど、社員の省エネ意識を高めるための啓蒙活動も継続しています。

夏期の電力ひっ迫期間には、各事業所に導入したデマンド制御設備を活用し、各事業所で想定している最大使用電力を超えそうなときには、空調設備を停止するなど、地道な取り組みを重ねました。これによって、社員の省エネに対する意識は格段に向上しました。

総エネルギー使用量と原単位



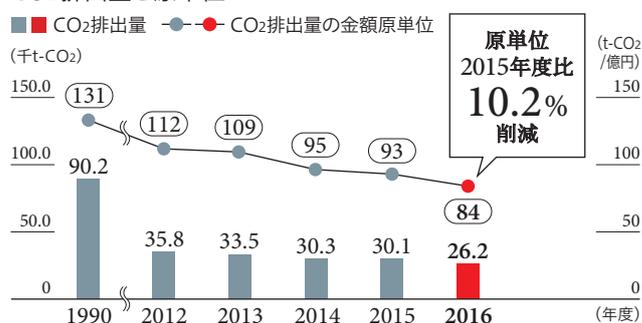
温室効果ガス排出量の削減

CO₂排出量原単位は「2015年度比99.0%以下」の目標に対して、実績は「89.8%」と目標を達成できました。

この主な要因は、各製造事業所での省エネ対策により総エネルギー使用量原単位を削減できたためです。

CO₂排出量は、京都議定書に定める基準年1990年と比べて国内製造部門では70.9%減、ショッピングセンター部門を加えると61.6%減となりました。

CO₂排出量と原単位



注) CO₂排出係数は、2016年度の係数が未発表のため、2016年度実績の算出には2015年度の係数を使用しています。また、2015年度実績は、2015年度の係数が発表されたため修正し、昨年報告したデータと数値が異なります。

輸送でのCO₂排出量の削減

ニッケグループでは輸送効率を向上させる取り組みを推進しています。

出荷製品や原材料の輸送距離を短縮するとともに、効率よい輸送でトラック便数を減少させるなどの取り組みに努めています。

(株)ニッケ物流は、「グリーン経営認証[※]」を取得しており、

各車両の燃費悪化につながる消耗品等の定期的な交換を実施し低燃費走行に努めています。

今後もエコドライブを推進し、CO₂排出量削減の取り組みを更に強化していきます。

[※] グリーン経営認証は、運送事業者などの環境取り組みを評価・認証する制度です。

省資源・リサイクルの取り組み

高リサイクル率を維持しつつ、廃棄物発生量を減らす取り組みをしています。

総物質投入量の低減

製造部門の主な原材料には、ウールを中心とした天然繊維、ポリエステルを中心とした合成繊維、染料・薬剤があります。

これら原材料の投入量を低減させるために、製造工程では歩留まりを高く維持することや不良率低減に継続的に取り組んでいます。

物質の循環利用

製造過程で発生する篠くずや短い毛などの副産品を、紡毛原料としてほぼ100%再利用するシステムを確立しています。

また、セーターや手編み糸などを包装する包装材の使用量は年間約6.0トンで、これら容器包装材は(公財)日本容器包装リサイクル協会に委託して、リサイクル(再商品化)しています。

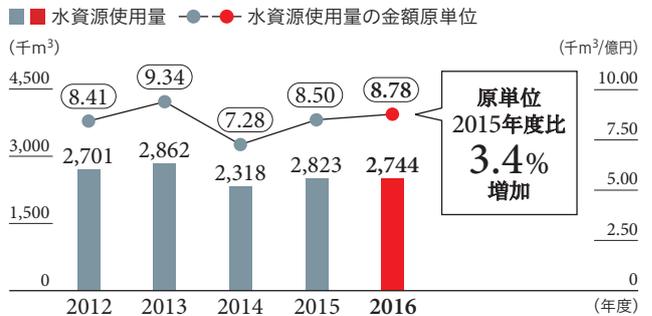
水資源使用量の削減

使用する水資源には上水・工業用水・地下水があります。

2016年度の水資源使用量は2015年度比で2.8%減少し、原単位は3.4%増加しました。

増加した主な原因は、用水を多く使用する製品の生産量増加のためです。今後も配管システムの点検・改修、節水対策の推進を行い、水資源使用量の削減に努めます。

水資源使用量と原単位



廃棄物の削減

廃棄物最終処分量原単位は「2015年度比99.0%以下」の目標に対して、実績は「101.5%」と増加しました。

これは、ゴーセンにて排水処理場を改修した際に、汚泥廃棄物が増加したことが原因です。

2017年度以降は、廃棄物処分量は減少する見込みです。

廃棄物発生量・リサイクル量・最終処分量と原単位

